

景況レポート

2026年
春号

Contents

1. 第92回伊勢崎佐波地区中小企業景気動向調査
2. 第203回特別調査
「中小企業経営者のライフデザイン」
3. 企業紹介
第一正和工業株式会社



アイオー信用金庫

〒372-8666
群馬県伊勢崎市中央町20番17号
TEL:0270-30-5001



伊勢崎商工会議所

〒372-0014
群馬県伊勢崎市昭和町3919
TEL:0270-24-2211

I 全業種(回答362社...回答率98.3%)

業況判断D.I.は、わずかながら悪化、来期は改善の予想

●今期(2026年1~3月期)の業況

今期の全業種の業況判断D.I.は△3.0と、前期との比較で1.6ポイント下回り、わずかながら悪化となりました。

項目別の業況判断D.I.では、売上高は1.4(前期比△3.8)、資金繰りは△2.8(前期比△0.1)、採算△7.2(前期比△0.6)、従業員1.9(前期比+2.7)と従業員は増加していますが、他の項目は悪化しています。

業種別の業況判断D.I.は、製造業、建設業・不動産業は改善していますが、卸売業、小売業、サービス業は悪化しています。

























独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他2団体が実査した全国調査(以後「全国調査」という。)との比較では、全業種の業況判断D.I.で全国調査を14.6ポイント上回りました。業種別では、全ての業種で、全国調査を上回る結果となっています。

●来期(2026年4~6月期)の業況

来期の業況判断D.I.の見通しは3.3と今期との比較で6.3ポイント上回り、改善を予想しています。項目別業況判断D.I.見通しでは、売上高、資金繰り、採算ともに改善、従業員は弱含み横ばい見込みとなっています。

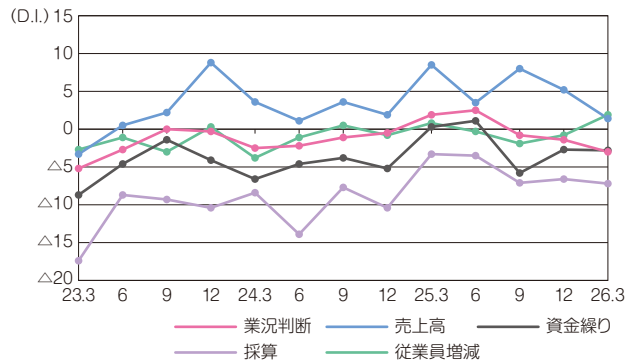
また、業種別の業況判断D.I.見通しでは、製造業、卸売業は大幅に改善、小売業は改善、建設業・不動産業はわずかながら悪化、サービス業は横ばいの見込みです。

■業種別天気図

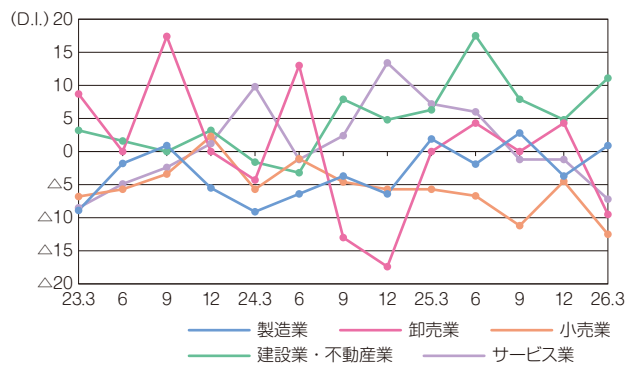
	前期 2025年10~12月期	今期 2026年1~3月期	来期予想 2026年4~6月期	全国調査 2026年1~3月期
全業種	 △1.4	 △3.0	 3.3	 △17.6
製造業	 △3.7	 0.9	 13.0	 △15.9
卸売業	 4.3	 △9.5	 19.0	 △15.1
小売業	 △4.5	 △12.5	 △6.8	 △26.5
建設業 不動産業	 4.8	 11.1	 9.5	 △11.3
サービス業	 △1.2	 △7.2	 △7.2	 △15.4



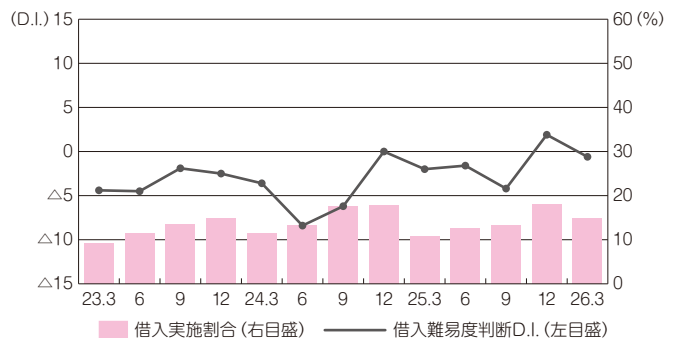
■項目別業況判断D.I.



■業種別業況判断D.I.



■借入実施割合・借入難易度D.I.



Ⅱ 製造業 (回答107社…回答率98.1%)

■景況

今期の業況判断D.I.は0.9と、前期との比較で4.6ポイント改善しました。全国調査との比較では、業況判断D.I.で16.8ポイント上回りました。

業種別にみると、金属プレス・メッキ、輸送機械、印刷、機械器具は改善していますが、金属製品、プラスチックは悪化しています。

項目別には、すべての項目で改善しています。また、原料仕入単価は上昇しています。

来期の業況判断D.I.は13.0と大幅な改善を予想しています。項目別には、売上高、資金繰り、採算、設備操業率ともに改善を見込みます。また、原材料仕入単価は低下の見込みです。

経営上の問題では、「原材料価格の上昇」が22.7%、「人件費の増加」12.3%、「需要の停滞」11.9%、「製品単価の低下・上昇難」10.0%となっています。

■業種別の状況

【輸送機械】

業況判断D.I.は、28.6と前期比8.6ポイントの改善となっています。来期は28.6と横ばいの見込みです。

項目別では、原材料仕入単価が71.4と前期比41.4ポイントの大幅上昇となりました。採算は改善していますが、売上高、設備操業率ともに悪化しています。また、従業員、原材料在庫は増加しています。

経営上の問題点は、「人件費の増加」27.8%、「原材料価格の上昇」、「従業員の確保難」、「需要の停滞」がともに16.7%となっています。

【機械器具】

業況判断D.I.は、△27.3と前期比14.4ポイントの大幅改善となりました。来期は0.0と27.3ポイントの引続きの改善が見込まれています。

項目別では、原材料仕入単価は54.5と前期比21.2ポイントの大幅上昇しています。売上高、設備操業率、採算ともに改善しています。

経営上の問題点としては、「原材料価格の上昇」28.0%、「製品ニーズの変化への対応」16.0%、「製品単価の低下・上昇難」「熟練技術者の確保難」、「需要の停滞」がともに12.0%となっています。

【金属製品】

業況判断D.I.は、2.9と前期比1.6ポイントのわずかながら悪化となりました。来期の業況判断D.I.は、5.7とわずかながら改善を見込んでいます。

項目別には、売上高、採算、設備操業率ともにわずかながら改善しています。また、原材料仕入単価は31.4と9.5ポイント下落しています。

経営上の問題点については、「原材料価格の上昇」25.9%、「人件費の増加」14.8%、「製品単価の低下・上昇難」12.3%となっています。

【金属プレス・メッキ】

業況判断D.I.は、16.7と前期比28.5ポイントの大幅改善しています。来期も33.3とさらに改善が見込まれています。

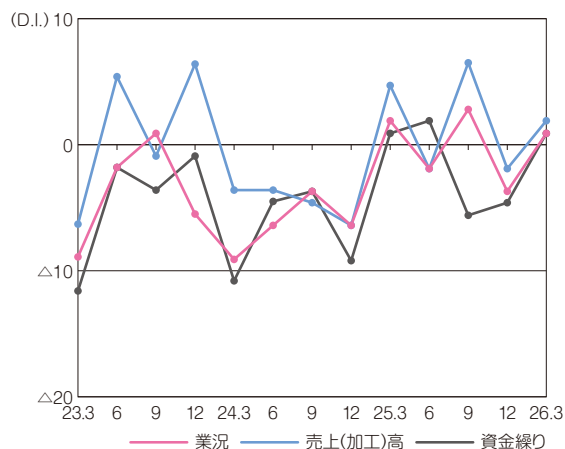
項目別には、売上高、設備操業率、採算ともに改善しています。また、原材料仕入単価は33.3と25.5ポイント下落しています。

経営上の問題点については、「原材料価格の上昇」26.5%、「需要の停滞」17.6%、「熟練技術者の確保難」11.8%となっています。

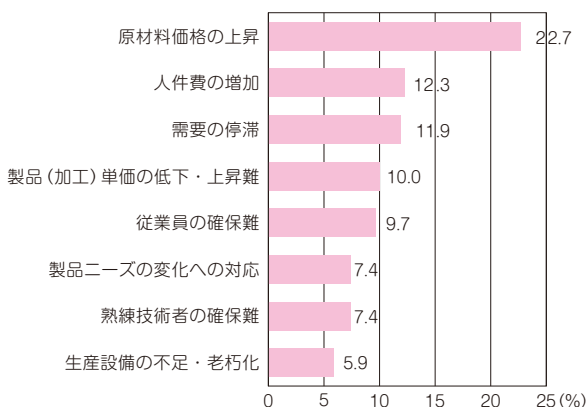
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 3.7	0.9	13.0	△ 15.9
売上(加工)高	△ 1.9	1.9	14.8	△ 8.8
資 金 繰 り	△ 4.6	0.9	9.3	△ 13.3
採 算	△ 8.3	3.7	8.3	△ 18.5
原材料仕入単価	38.9	41.7	34.3	66.2
原 材 料 在 庫	△ 2.8	1.9	2.8	△ 5.7
従 業 員 増 減	△ 3.7	2.8	△ 0.9	△ 6.5
設 備 操 業 率	△ 5.6	0.9	8.3	—

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点 (複数回答)



【印刷】

業況判断D.I.は、16.7と16.7ポイントの大幅改善となり、来期の業況判断D.I.も16.7と横ばい見込みです。

【プラスチック】

業況判断D.I.は、△16.7と前期比4.2ポイントの悪化となりました。来期の業況判断D.I.は0.0と改善見込みです。

Ⅲ 卸売業(回答21社…回答率91.3%)

■景況

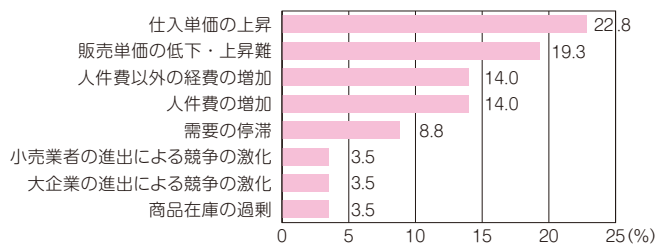
今期の業況判断D.I.は△9.5と前期との比較では13.8ポイントの大幅悪化となりました。来期は19.0と28.5ポイントの大幅改善の見込みです。全国調査との比較では、業況判断D.I.で5.6ポイント上回りました。

項目別では、売上高、資金繰り、採算ともに悪化しています。また、売上単価、仕入単価も下落しています。

経営上の問題点としては、「仕入単価の上昇」が22.8%、「販売単価の低下・上昇難」19.3%、「人件費以外の経費の増加」「人件費の増加」がともに14.0%となっています。

業種別では食料・飲料卸売業の今期の業況判断D.I.は△16.7と前期比36.7ポイントの大幅な悪化となっています。来期は0.0と16.7ポイントの改善見込みです。

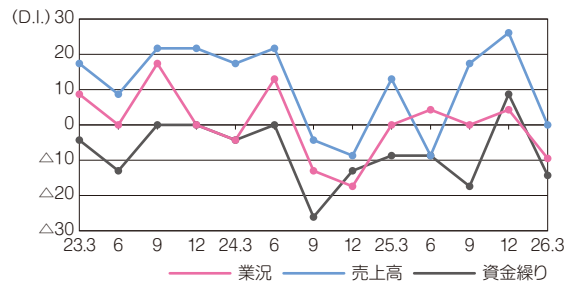
■経営上の問題点(複数回答)



(対前年同期比判断D.I.)

	前期	今期	来期見通し	全国調査
業況	4.3	△9.5	19.0	△15.1
売上高	26.1	0.0	23.8	△9.8
資金繰り	8.7	△14.3	9.5	△9.7
採算	8.7	△9.5	4.8	△17.4
売上単価	34.8	14.3	14.3	37.7
仕入単価	47.8	33.3	38.1	65.9
在庫数量	4.3	0.0	19.0	△7.3
従業員増減	13.0	4.8	4.8	△4.6

■主要業況判断D.I.の推移



Ⅳ 小売業(回答88社…回答率98.8%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△12.5と8.0ポイント悪化しています。全国調査との比較では、業況判断D.I.で14.0ポイント上回っています。

項目別では資金繰りはわずかながら改善していますが、売上高、採算は悪化しています。また、客単価はわずかながら下落、仕入単価は大幅に下落しています。

来期の業況判断D.I.は△6.8と5.7ポイントの改善予想です。

経営上の問題点としては、「仕入単価の上昇」が20.8%、「消費者ニーズの変化への対応」18.2%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」11.7%となっています。

■業種別の状況

【飲食料品小売業】

飲食料品小売業の業況判断D.I.は、△13.3と前期比4.6ポイントの改善となりました。来期は△3.3とさらに10.0ポイントの改善を見込みます。

項目別には資金繰りは改善していますが、売上高、採算ともに悪化しています。また、仕入単価は下落、客単価は横ばいになっています。

経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」が24.4%、「消費者ニーズの変化への対応」17.1%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」12.2%となっています。

【その他】

業況判断D.I.は医薬品・化粧品、燃料は改善していますが、自動車販売、家電、スポーツ・文具は悪化しています。

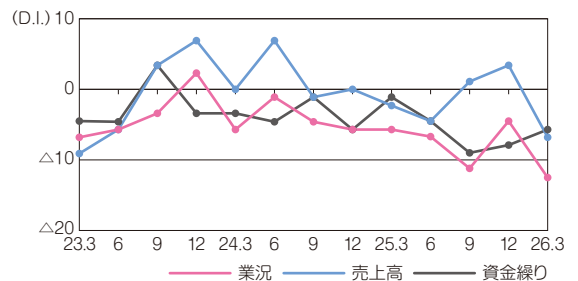
来期は燃料、スポーツ・文具は改善、自動車販売、医薬品・化粧品、家電は横ばいの見込みです。

経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」が依然として多いものの、「消費者ニーズの変化への対応」「大型店・中型店の進出による競争の激化」等従来からの課題も目立っています。

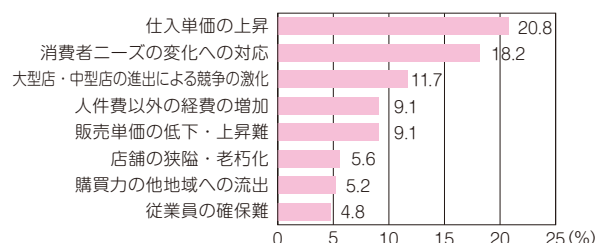
(対前年同期比判断D.I.)

	前期	今期	来期見通し	全国調査
業況	△4.5	△12.5	△6.8	△26.5
売上高	3.4	△6.8	△2.3	△21.0
資金繰り	△7.9	△5.7	△8.0	△19.6
採算	△15.7	△19.3	△13.6	△29.3
客単価	6.7	4.5	2.3	△2.3
仕入単価	60.7	45.5	39.8	62.6
在庫数量	△4.5	△6.8	△6.8	△15.0
従業員増減	△5.6	2.3	1.1	△4.8

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点(複数回答)



V 建設業・不動産業 (回答63社…回答率100%)

■景況

今期の業況判断D.I.は11.1と前期比6.3ポイント改善し、全国調査比では22.4ポイント上回りました。

来期の業況判断D.I.は9.5と1.6ポイント悪化する見込みです。

項目別では受注額は改善していますが、売上高、資金繰りは横ばいです。採算はわずかながら悪化しています。一方、材料単価は上昇しています。

経営上の問題点は、「材料単価の上昇」18.5%、「従業員の確保難」14.2%となっています。

■業種別の状況

【総合工事】

業況判断D.I.は、12.5と前期比1.8ポイント悪化しました。来期は15.6と3.1ポイントの改善が見込まれています。

項目別には、資金繰り、受注額は改善していますが、売上、採算ともに悪化しています。一方、材料単価は62.5と大幅に上昇しています。

経営上の問題点は「材料価格の上昇」が24.1%、「請負単価の低下・上昇難」12.7%、「材料費・人件費以外の経費の増加」「従業員の確保難」10.1%となっています。

【設備工事】【職別工事】【不動産】

設備工事業の業況判断D.I.は、△11.1と前期比20.2ポイントの悪化となっています。来期はさらに11.1ポイントの悪化見込みです。

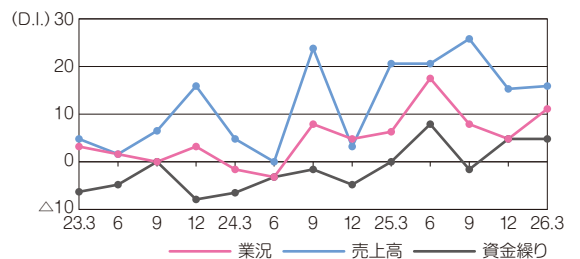
職別工事業の業況判断D.I.は、16.7と前期36.7ポイントの改善となりましたが、来期は0.0と16.7ポイント悪化の見込みです。

不動産業の業況判断D.I.は、15.4と前期比15.4ポイントの改善ですが、来期は15.4で横ばい見込みです。

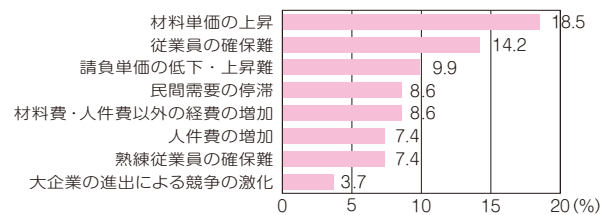
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	4.8	11.1	9.5	△ 11.3
売 上 高	15.3	15.9	15.9	△ 11.2
資 金 繰 り	4.8	4.8	3.2	△ 7.0
採 算	4.8	3.2	1.6	△ 20.2
受 注 額	7.9	14.3	20.6	△ 14.0
材 料 単 価	39.7	47.6	36.5	75.0
従 業 員 増 減	6.3	1.6	4.8	△ 5.6

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点 (複数回答)



VI サービス業 (回答83社…回答率98.8%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△7.2と前期比6.0ポイントの悪化です。全国調査との比較では、業況判断D.I.で8.2ポイント上回りました。

項目別では、売上高、資金繰り、採算ともに悪化しています。また、客単価は下落、仕入単価は、横ばいです。

来期の業況判断D.I.は△7.2と横ばいの予想です。

経営上の問題点は「消費者ニーズの変化への対応」16.1%、「人件費以外の経費の増加」、「材料等仕入単価の上昇」がともに11.8%となっています。

■業種別の状況

【自動車整備】

業況判断D.I.は、0.0と前期比5.3ポイントの悪化ですが、来期は5.3ポイントの改善が見込まれています。

項目別では、売上高は横ばいですが、資金繰り、採算は悪化しています。客単価は下落、仕入単価は上昇しています。

経営上の問題点は、「大企業の進出による競争の激化」、「材料等仕入単価の上昇」、「人件費以外の経費の増加」がともに12.8%となっています。

【洗濯・理容】

業況判断D.I.は、△25.0と前期比5.0ポイントの悪化で、来期も△25.0と横ばいの見込みです。

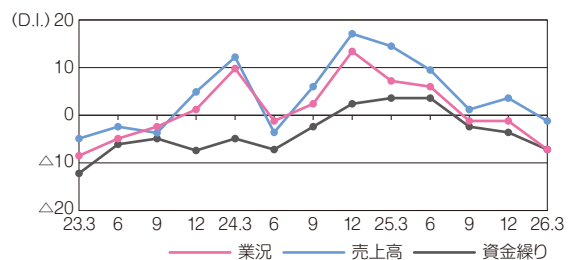
項目別では、売上高、採算、資金繰りともに悪化しています。また、客単価・仕入単価ともに下落しています。

経営上の問題点は、「消費者ニーズの変化への対応」28.6%、「店舗施設の狭隘・老朽化」19.0%、「利用料金の低下・上昇難」「材料等仕入単価の上昇」がともに14.3%となっています。

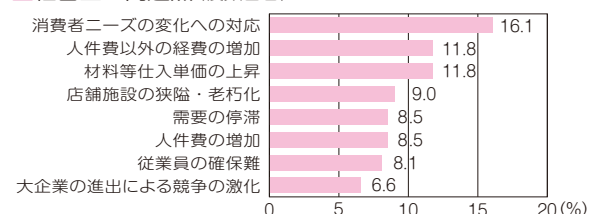
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 1.2	△ 7.2	△ 7.2	△ 15.4
売 上 高	3.6	△ 1.2	2.4	△ 7.7
資 金 繰 り	△ 3.6	△ 7.2	△ 4.8	△ 12.1
採 算	△ 7.3	△ 15.7	△ 8.4	△ 22.6
客 単 価	13.3	3.6	3.6	14.0
仕 入 単 価	39.0	39.8	33.7	66.5
従 業 員 増 減	△ 1.2	0.0	1.2	△ 4.8

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点 (複数回答)

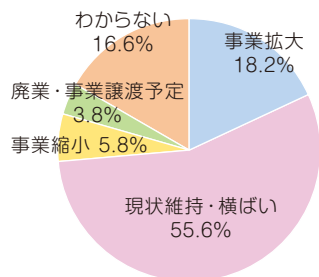


特別調査【中小企業経営者のライフデザイン】

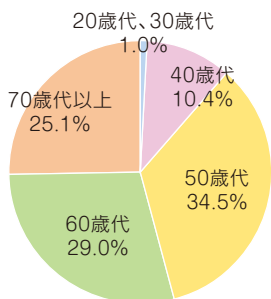
1. 10年先の自社の経営

10年先の自社の経営展望は、「現状維持・横ばい」が55.6%と過半数を超え、「事業拡大」は18.2%にとどまり、「わからない」とする回答も16.6%でした。一方、社長の年齢階層は、「50歳代」が34.5%で最も多く、次いで「60歳代」29.0%、「70歳代」25.1%でした。

■10年先の経営展望



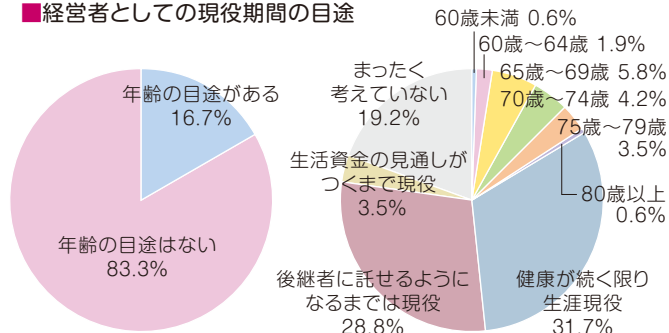
■社長の年齢階層



2. 経営者としての現役期間

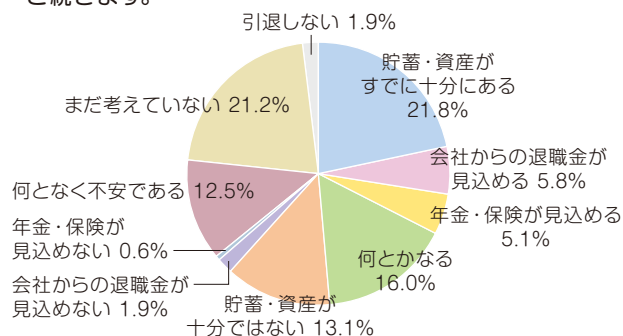
経営者としていつ頃まで現役を続けたいかは「生涯現役」が31.7%と最も多く、「後継者に託せるようになるまで」28.8%、「まったく考えていない」19.2%と続きますが、「年齢の目途がある」方は、全体の16.7%となっています。

■経営者としての現役期間の目途



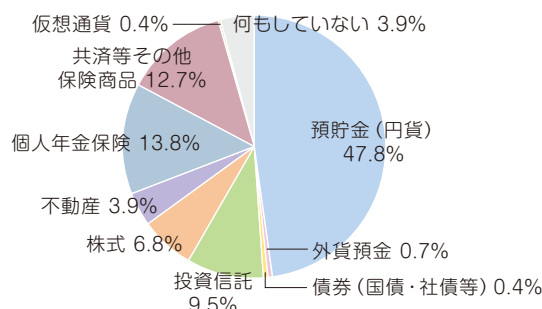
3. 引退後の生活資金

引退後の生活資金については、「すでに十分ある」が21.8%と最も多く、「まだ考えていない」が21.2%、「何とかなる」16.0%、「十分でない」13.1%、「何となく不安である」12.5%と続きます。



4. 個人としての資産管理・運用

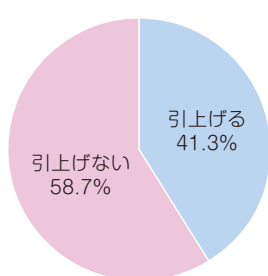
「預貯金(円貨)」が47.8%と全体の半数近くを占めています。次に「個人年金保険」13.8%、「共済等その他保険商品」12.7%と続き、「投資信託」9.5%、「株式」6.8%とリスク資産での運用は、限定的となっています。



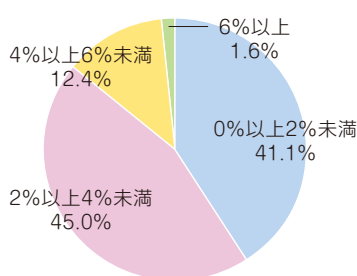
5. 2026年中の賃金引上げ予定

賃金引上げ予定については、「引上げる」41.3%、「引上げない」58.7%です。引き上げ幅は「2%～4%」が45.0%で最も多く、「0%～2%」41.1%となっています。引上げない理由は、「自社に従業員はいない」が32.8%と最も多く、「今後の業績見通しが不透明」25.1%、「賃上げに見合う価格転嫁ができていない」18.6%となっています。また、「これまでに引上げ済み」が15.8%となっています。

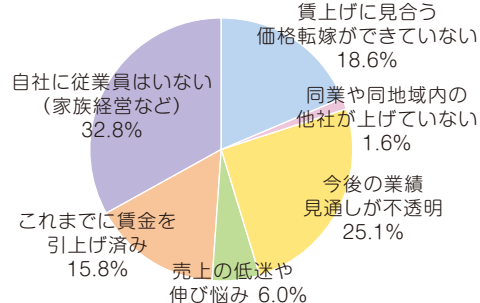
■賃金引上げ予定



■引上げ幅



■引上げない理由



今回の調査について

【調査方法】		【調査対象企業数・回答企業数】			
調査時期	2026年3月	調査対象企業数	回答企業数	回答率	
調査内容	①今期の状況：前年の同時期(2025年1～3月期)と比較した今期(2026年1～3月期)の状況 ②来期の見通し：前年の同時期(2025年4～6月期)と比較した来期(2026年4～6月期)の状況	製造業	109	107	98.1%
調査方法	アイオー信用金庫及び伊勢崎商工会議所の調査員による面談または聞き取り	卸売業	23	21	91.3%
対象企業	伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の事業所	小売業	89	88	98.8%
※毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。		建設業・不動産業	63	63	100%
		サービス業	84	83	98.8%
		合計	368	362	98.3%

第一正和工業株式会社



【経営理念】

1. 弊社は社員と共にものづくりを通じて個人の成長・技術の向上を図り社会に貢献します。
1. 納期、品質、価格に挑戦し会社の業績向上と、お客様の満足度の向上を図ります。
1. 職場環境、社員の健康、安全の向上を目指し、5S活動を遵守し常に努力する職場にします。

【弊社について】

弊社では溶接から加工まで一括してお引き受けできます。

精密板金加工、機械加工、溶接技術ならお任せください。お客様のどんな要望にもお応えします。

水力発電所や火力発電所の発電装置や真空装置部品の溶接・加工を得意とし、ハッ場発電所のフランシス水車のケーシングは当社が製缶加工したものです。また、機械加工設備も揃えているので、必要な治具や一次加工等も社内で行いスムーズに製作・短納期を実現できます。なお、鉄やステンレス等の一般材から特殊材（ハステロイX、ナイモニック等）の溶接・加工についても気軽にご相談ください。

【製缶加工】

製缶加工とは、薄い板を使う「板金」に対し、主に厚さ9mm以上の肉厚材を使用し強度や大型構造物が求められる分野で用いられる技術で鉄やステンレスなど



会社概要

創 業 1955 (昭和30)年6月
 設 立 1960 (昭和35)年7月
 代 表 者 代表取締役 榎本 昌明
 所 在 地 (本社) 伊勢崎市八斗島町722番地
 T E L 0270-32-0761 (代表)
 資 本 金 1,750万円
 従 業 員 数 16人
 業 務 内 容 水力及び火力発電プラント機器の製造
 製缶・板金・溶接・機械加工、治工具製作

主な取引先

株式会社東芝、広瀬産業株式会社、
 東芝ジーイー・タービンサービス株式会社、
 東京パワーテクノロジー株式会社、
 田中水力株式会社、株式会社松本鉄工所(長野)、
 株式会社浅野、GE Power、株式会社尾形製作所

の金属板・形鋼を切断、曲げ、溶接してタンク、フレーム、配管などの立体的構造物を製作する技術で弊社が得意とする分野です。

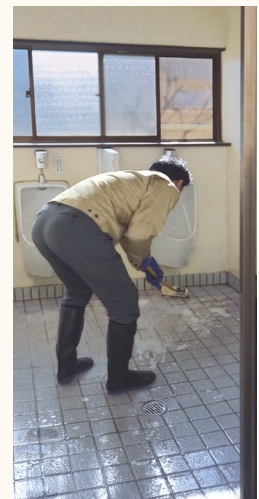


【機械加工】

弊社ではマシニングセンターや旋盤等幅広く機械設備を備えているため、様々な材質や加工が可能です。

【自分へのこだわり】

- ・「仕事の報酬は仕事」：良い仕事をすれば次に面白い（難易度の高い）仕事が任されるという成長の好循環
 - ・5S活動の推進：会社が綺麗でないと良い製品が造れない
- また、会社の発展のために自ら進んで、専務の時代から10年以上に亘り週1回のトイレ掃除と週2回のごみ捨てを実施しています。



中小企業経営者の
みなさまへ

国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

●制度の特長

- 1 経営者のための**退職金制度**
- 2 掛金は**全額所得控除**
- 3 受取時も**税制メリット**

他にもこんな特徴があります。

- 月々の掛金は1,000円から
- 契約者貸し付けの利用が可能
- 共済金の受給権は差押禁止

経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

- 1 掛金の10倍の範囲内で
最高8,000万円まで貸付け
- 2 貸付条件は
無担保・無保証人
- 3 掛金は税法上**損金(法人)または
必要経費(個人事業)に**

共済相談室 TEL.050-5541-7171 【受付時間】平日 9:00~17:00



オンラインで
加入申込み
受付中

加入後の一部手続きもオンラインで可能。
制度の詳細な内容は2次元コード又はホームページからご確認ください。

小規模企業共済

小規模共済

検索

経営セーフティ共済

経営セーフティ共済

検索



2024.9

不易流行の地域支援 FIRST CALL BANK

「お客様に寄り添い、豊かな生活の実現に向けて、
地域から頼りにされ、一番に選ばれる金融機関」
私たちは、FIRST CALL BANKの実践に取り組み、
来る令和10年1月の創立100周年には、その確立を目指します。



補助金支援サービス



起業塾



新入社員研修会



アイオーフォーラム

 アイオー信用金庫

